

令和3年度の前期終業式にあたり、少しお話しします。今年度は、4月8日の始業式から始まり、約半年間過ぎました。この期間を振り返ってみて、皆さんにとってはどうでしたか。

この前期を少しだけ振り返ってみます。まず一つ目としては、ICT先行実践校に選ばれ、各教室のプロジェクタやW i f i など、通信環境がより一層充実したことがあります。3・4年生にも1人1台端末Chromebookが整備され、後期から本格的な活用が始まります。実は、7月から本校はICTの特定推進校の指定を受けています。定時制でも授業や各種調査など、今後さらに活用の範囲を広げて、皆さんの将来の生活に生かすことができるように、積極的に使ってみようと思っています。

次に、学校行事を振り返りますが、この前期も新型コロナウイルス感染症の流行により、様々な行事にも制限が加えられる状態が続きました。そのような中でも、6月6日に熊本県定通体育大会が開かれ、本校からは卓球とバドミントンに出場しました。昨年は中止されていた大会でしたので、今年が初めての参加となった人も多かったと思います。それぞれが練習の成果を発揮し、最後まで一生懸命に競技に打ち込む姿が見られ、とても嬉しかったです。結果はさきほどの表彰の通り、卓球部が全国大会に出場することができました。この事についても、同窓会や地域の皆様からもたくさんのお支えをいただき、新聞や情報誌にも取り上げられるなど、定時制の活動そして活躍を、大勢の方々に知っていただく機会となったことは、本当に素晴らしいことです。

7月には、校内生活体験発表会がありました。この取組は、学校生活を通して、感じ、学んだ貴重な体験について振り返り表現することで、多くの人に感動と励ましを与えることを目的としています。一人一人が自己を見つめ作文を完成させ、そして発表を聴くことで、一緒に学ぶ仲間の日頃の生活や考え方に触れ、お互いの理解が一層深まったことと思います。

そして、前期の締めくくりは人定祭でした。新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で規模を一部縮小し、感染防止の対策を立てた上での開催となりました。そのような中でも、「展示クラブ」「創作舞台クラブ」「食バザークラブ」の3クラブを編成し、それぞれが趣向を凝らした発表・展示等を行いましたね。今までとは違う方法を考えなければならず、大変な場面も多かったと思いますが、皆さんは、限られた時間の中で工夫しながら当日まで準備してきたことが、昨日の発表や作品からも十分伝わってきて、素晴らしい人定祭でした。

この前期の半年間を振り返っても、人定での生活の中で、いろいろな出来事があり、それらを通して、皆さんがそれぞれに成長できたのではないかと思います。

さて、この夏は、昨年から開催が延期されていた東京2020、オリンピックそしてパラリンピックが行われました。コロナ禍での開催でしたが、日本代表をはじめ世界各国から集まった選手達が参加したスポーツの祭典、皆さんもテレビで観戦したと思います。わたしも毎日、楽しみにしていましたし、スポーツのもつ力、そして、人間の可能性は本当に無限大だな、と感じました。

ところで、皆さんはオリンピック憲章を知っていますか？オリンピックはこのルールに則って開催されているわけですが、その根本原則の1には、まず、オリンピックの理念が目指す人間の理想像が記されています。肉体と意志と精神のすべての資質を高め、バランスよく結合させる生き方の哲学だそうです。健全な体と強い心、知性、そのバランスがとれている人だと言っています。さらに、オリンピック精神においては友情、連帯、フェアプレーの精神とともに相互理解が求められます。この友情や連帯、相互理解などは、今まさに人定での学校生活に通じるものでもあります。皆さんも、この夏、オリンピックやパラリンピックの姿からいろいろな事を感じたのではないかと思います。努力する喜びや互いを尊重する心など、何かしらの生き方のヒントとなるようなものを受け取ることができたのではないのでしょうか。次の大会は3年後のパリ大会です。その頃はそれぞれどこでどのように過ごしているか、そのときの自分の姿を想像してみるのもいいでしょう。

明日からは秋休みです。短い期間ではありますが、前期を振り返るとともに、後期に向けて、自分なりの目標を立ててみてください。後期も定時制は「楽しくNight！」を合い言葉に過ごせるよう期待しています。秋休み明け、また元気な姿で会えることを楽しみにしています。（校長 前田浩志）